



電子版機関紙 126号

発行責任者 瀬下 啓司

県連サイト <https://rosansaitama.com/>

三役会議題

参加者:瀬下、上野、橋本、岩岡

11月5日

- ・2026年度予算について検討した。検討内容と三役としての予算案を作成し、12月17日理事会以前に理事会メンバーに発信していく。必要と思われる部署とは理事長が事前打ち合わせなどを行う。
- ・なお、理事長は都合により欠席となり、翌日に2026年度予算について、三役会メンバーへの発信があった。

12月10日

- ・安全対策基金、栄誉功労章、関東ブロック登山道整備企画について検討した。
- ・来年度の理事と会計監査の人選について検討した。
- ・前回三役会に続き2026年度予算について検討した。検討内容と三役としての予算案を作成し、12月17日理事会以前に理事会メンバーに発信していく。必要と思われる部署とは理事長が事前打ち合わせなどを行う。なお、財政支出要綱への加筆が必要である。
- ・ハイグレードハイキングの案内チラシ(作成中)を12月17日理事会に出す。

次回三役会:2026年1月14日(水)

全国連盟

・全国連盟総会

2026.2/14(土)～2/15(日) 東京飯田橋ユースホステル 瀬下参加予定。

県連全体

・関東ブロック自然保護交流集会

2026.1/17(土)日帰り 栃木県

古賀志山登山道整備状況の視察～NPO法人古賀志山を守ろう会の皆さんによるご案内など
集合AM9:00 宇都宮市森林公園駐車場公衆電話ボックス付近 解散PM5:00 同

参加費は無料。

申し込み締め切り12/31

県連盟単位で申し込みますので、参加希望者は瀬下までご連絡ください。

事務局

- ・取り組み報告や理事会レジメの作成と理事への配信
- ・全国連盟などからの情報提供の各加盟団体への配信など
- ・加盟団体の「会報」の各加盟団体への配信
- ・理事会、講習会などの会場確保
- ・労山カレンダー2026の対応

財政

- ・2026労山カレンダーの振込及び各会からの集金管理
- ・今年度の各会からの連盟費はすべて納入を確認しました。

ホームページ

ろうさん彩登125号掲載

ハイキング

4/23(水)の理事会での会議後は月に1回程度LINEにて会議を実施する。次回会議は12/22(月)20:00～LINEで来年度の有料講習会の企画会議、2026.1/5(月)LINE19:00～今年度の行事詳細の詰めなど。

- ・山筋ゴーゴー体操講習

11/23(日)10:00～12:00 高鼻コミュニティーセンター 講師 谷脇さん(埜歩歩富士見山の会)ほか

参加希望者が少ないため残念ながら中止。

- ・地図読み講習山行

11/30(日)奥武蔵正丸周辺(西吾野～三田久保峠に向かう尾根)で実施。講師:ハイジアルペンクラブ遠藤さん。参加者19名。小春日和の中、地図上にない尾根を歩く。非常に好評であった。

- ・県連ハイキング

2026.2/8(日)新春餅つき 小仏城山頂上・青天狗茶屋にて実施。現在参加者募集中。(12/14現在申し込み3団体17人。定員は最大で50名。)皆さんどうぞお楽しみに。

海外

11/19に海外委員会を開催し、11/23の海外山行報告集会の準備の進捗状況を確認し、二つの山行報告と共に来年の海外山行の企画を発表することを確認した。11/23当日は海外委員も含めて17名の参加であった。報告は、インド・ガンゴトリ山群カリンディ峠トレッキングと、インド・ジャンムー＆カシミールのキシウトワールヒマラヤトレッキングであった。二つとも自らが行程を作成し、計画を立て、地元のエージェントと直接打ち合わせをして進めた手作りトレッキングである。カリンディ峠は昨年の反省の上に、目的を達することができた。キシウトワールヒマラヤは日本人どころか、外国人が入っていない二つの谷の踏査をした。二つの報告の後、来年の三つの企画を発表した。それは、①インド・ラダック地方の6000m峰の登山。期間は7/20～8/2。②インド・ガルワール地方の「花の谷」他のトレッキング。期間は8/2～14。③今年、山中委員が踏査してきたキシウトワールヒマラヤのトレッキングと5000m峰の小登山。期間は7/16～8/1。今後、募集していく。

登山学校

12/1運営委員会、12/6-7総合講座鋸山、伊予ヶ岳にて開催。1/5運営委員会、1/9山の基礎知識机上講座、1/10実技講座

遭難防止安全対策

自然保護

・グリーンハイク

全国一斉実施日6/1(日)。6/1(日)の実施でなくても大丈夫です。実施した会はブロックごとに結果を瀬下まで報告をお願いいたします。実施日、実施場所、参加人数、ゴミの量(kg)(可燃ゴミ、不燃ゴミ)

中部ブロック、南部ブロックは偶然実施場所が同じ越生の大高取山となった。山頂では短い時間であったが交流もあり楽しい時を過ごした。

・登山道整備

12月2日、榎峠登山道整備、10名参加で無事に終了しました。杉の倒木を4本切り片付けました。

・埼玉県環境部みどり自然課あてに10月に提出した「埼玉県の自然保護についての要望書」に対しての回答文書が12月16日に届いた。→ 回答書は1/18の代表者意見交換会に出す。

ブロック活動報告

	会議日程		
西部	11/23	大下	11月13日(木)ウエスタ川越内川越南公民館7:30～ 鍋交流ハイク(11月9日)の報告。2月15日(日)スノーシューについて話し合い。
南部	12/18	富田	12月18日にブロック会議を開催する。そこで3/1に予定している交流ハイクの山を決める。
中部			地図読み山行12/14(日)高麗～武蔵横手(雨天のため中止)、交流ハイキング2026.1/25(日)長瀬アルプス、雪山山行2026.2/14(土)～2/15(日)谷川岳西黒尾根。
北部		梅澤	



議 題

○ 代表者意見交換会

日時:2026年1月18日(日)9:15~11:45(受付9:00~)場所:高鼻コミュニティセンター 大会議室

内容:埼玉労山・組織改革の方向について。 規約・規定・要綱の改廃について

2026年度予算について。 岩登り教室、沢登り教室、ハイグレードハイキング など

○ 埼玉労山・組織改革の方向について(1)

埼玉労山理事会合宿 討論のまとめ 6/21(土)~6/22(日)実施

①埼玉労山の組織を委員会活動中心のものに変えていく。理事は各委員会の長が務め、少数精鋭で運営する。

②理事長、事務局長、専門委員会の長などには、活動謝金を出す。また、全国連盟の会議等に役職の必要から出席しなければならない時は、日当を出す。対象範囲、金額、予算項目等詳細については、理事会、会計担当理事と相談しながら、連盟費を値上げしない形で、どうしたら捻出できるか検討する。

③遭難防止・安全教育、ハイキングの各委員会で有料の講習会を実施する。参加者からは受講料をもらい、講師には謝金を支払う。

④③の委員会が主催する講習会については、埼玉労山の魅力と活動を若い人を含む広い層に知ってもらい、新規の会員獲得を目指すため、労山会員以外の方も参加できるようにする。また、若者への発信を強化するため、講習会の内容はホームページ以外の各種SNSでも発信していく。

⑤各会が集まって討議する機会は年1回の総会とする。(ただし臨時総会の召集要請があった場合は別。)

⑥ブロック活動については各ブロックの意見を確認しながら今後の方向を検討する。

→ 主に2026年度予算案について検討した。1/18代表者意見交換会には「考え方」を説明する。具体的な数字については引き続き検討する。

○ 埼玉労山・組織改革の方向について(2)

8/31開催の評議会では出された有料企画の事故時の対応について、その後の弁護士などとの相談結果や全国連盟の制度活用について、文書を作成し1/18開催の代表者意見交換会で説明する。

○ 栄誉功労章

県連として2人の推薦枠があり、今回は、齋藤厚子さんと真華丸さんを推薦する。

○次回 理事会日程:2026年2月25日(水)場所:浦和コミセン第11集会室

司会: 記録: